

1 節 所蔵登録と書誌登録

1 節 所蔵登録と書誌登録

- 1項 共有レコードと参加館固有のレコード
- 2項 登録のパターン
- 3項 具体的な注意点

【学習目標】

1. 総合目録データベースに求めるレコードが「あればそれを用い、なければ新規にレコードを作成する」の意味を理解する。
2. 所蔵登録、書誌修正、書誌作成はどのような場合に行う操作か説明できる。
3. 書誌レコードと所蔵レコードの巻次年月次の関係を説明できる。

CAT2020 運用開始以降は、
レコード ⇒ データ
ファイル ⇒ データセット
と読み替えてください。

1 項 共有レコードと参加館固有のレコード



総合目録データベースのレコードには、共有レコードと参加館固有のレコードがあります。

このことは、「NACSIS-CAT 入門」で学習しました。復習すると次のようになります。

書誌レコードや、典拠レコード、タイトル変遷レコードは共有レコードです。従って、参加館の都合により、重複したレコードを作成したり、修正をすることはできません。

なお、タイトル変遷レコードは、作成、修正、削除のいずれも、参加館からの報告に基づき、国立情報学研究所だけが行います。

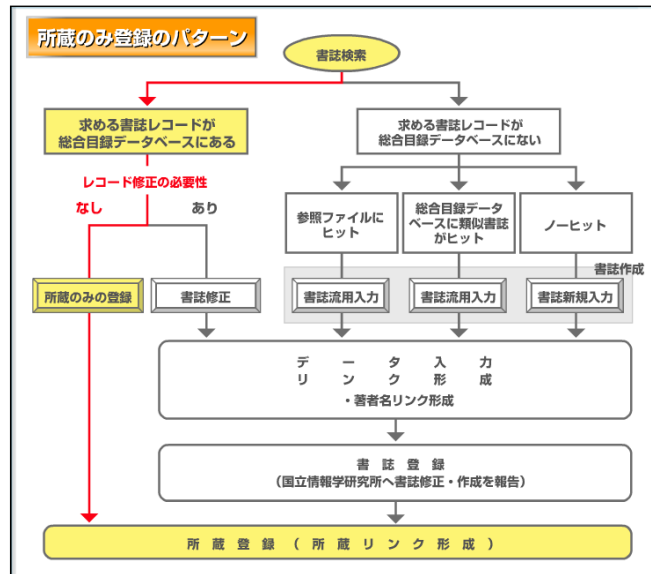
一方、所蔵レコードは参加館固有のレコードです。それぞれの参加館の責任により、作成・管理することになります。

書誌登録は共有レコードの登録で、所蔵登録は固有レコードの登録です。この違いをしっかりと確認しておきましょう。

次に、この考え方に従って、登録のパターンを見てみましょう。

1 節 所蔵登録と書誌登録

2 項 登録のパターン

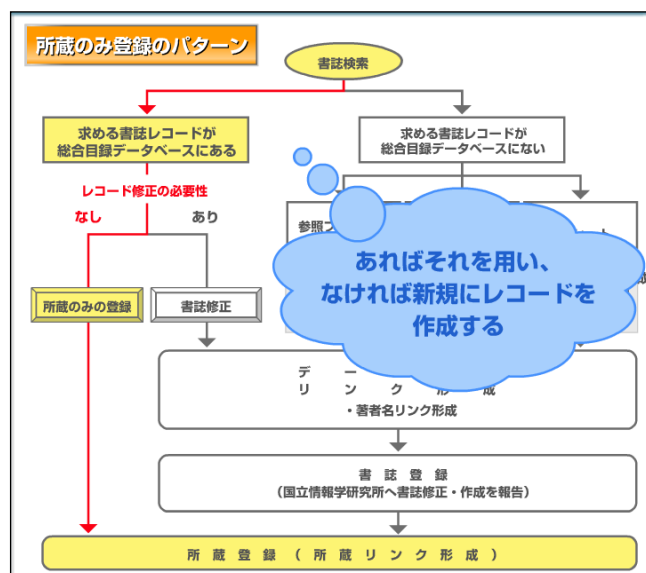


登録のパターンはこの図のようになっています。

求めるレコードがあるかないか、どのファイルに登録されているのか、修正は必要か、という条件によって、登録の種類が分かります。

まず最初に書誌検索を行います。

その結果、求める書誌レコードが総合目録データベースにあり、レコード修正の必要性がない場合は、所蔵登録のみを行います。

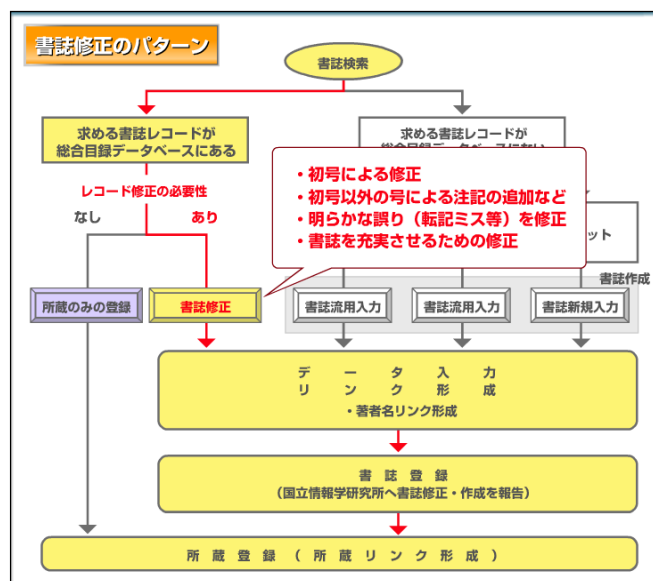


NACSIS-CAT では、総合目録データベースに求める書誌レコードが「あればそれを用い、なければ新規にレコードを作成する」のが基本の考え方です。

求める書誌レコードが総合目録データベースにあり、一部修正の必要性がある場合は、書誌の修正をし、書誌登録、更新してから所蔵登録を行います。これが「書誌修正」のパターンです。

具体的には次のようなケースです。

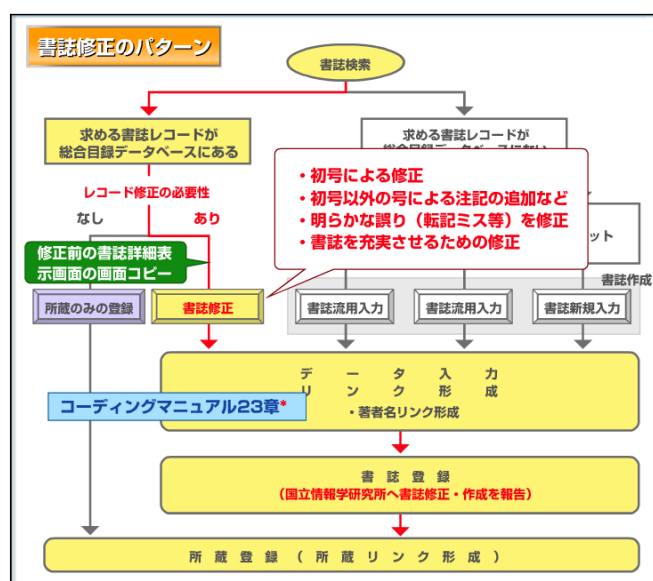
1 節 所蔵登録と書誌登録



求める書誌レコードが総合目録データベースにあり、一部修正の必要性がある場合は、書誌の修正をし、書誌登録、更新してから所蔵登録を行います。これが「書誌修正」のパターンです。

具体的には次のようなケースです。

- ・初号による修正
- ・初号以外の号による注記の追加など
- ・明らかな誤り (転記ミス等) を修正
- ・書誌を充実させるための修正

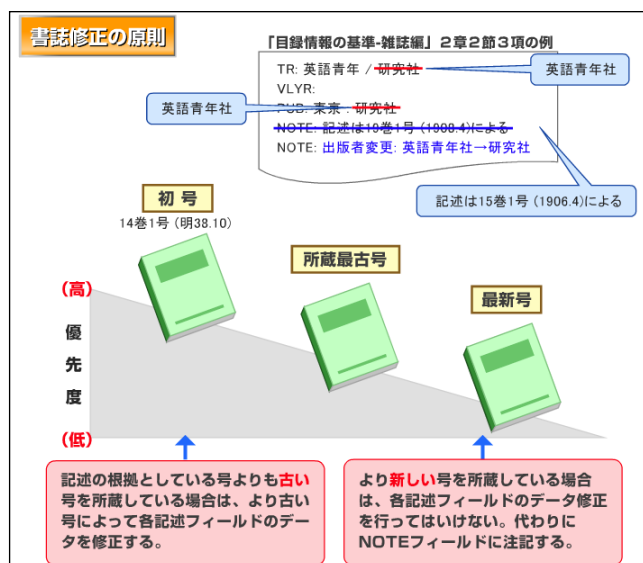


雑誌書誌レコードの修正・新規作成を行った場合は、情報源箇所と書誌レコードの詳細表示画面の画面コピーを添えて、国立情報学研究所に報告します。

修正を行う前には、忘れずに、書誌レコードの詳細表示画面を印刷しておくようにしましょう。

なお、雑誌書誌修正については、コーディングマニュアル 23 章の「雑誌書誌レコード修正」にそのルールが示されています。

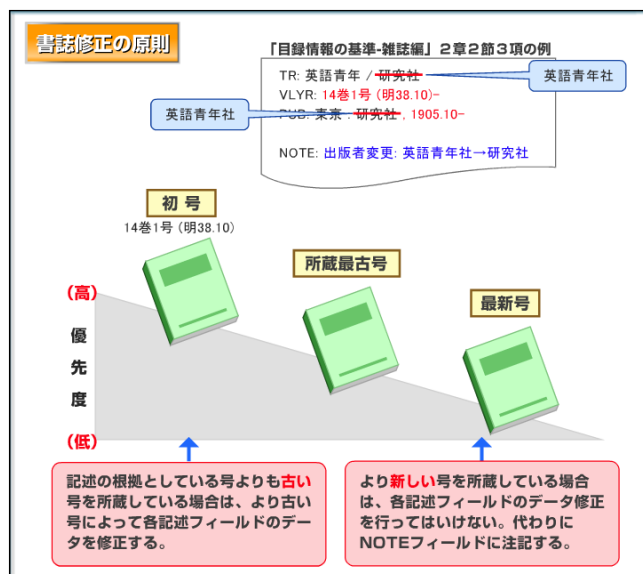
1 節 所蔵登録と書誌登録



雑誌の書誌レコードは、初号に基づいて記述を行います。初号がない場合は、最古号によります。

この初号主義の考え方に従うと、データの情報源としては、初号に近い程優先順位が高いと言えます。

記述の根拠としている号よりも古い号を所蔵している場合は、その情報源をもとに記述フィールドを修正します。

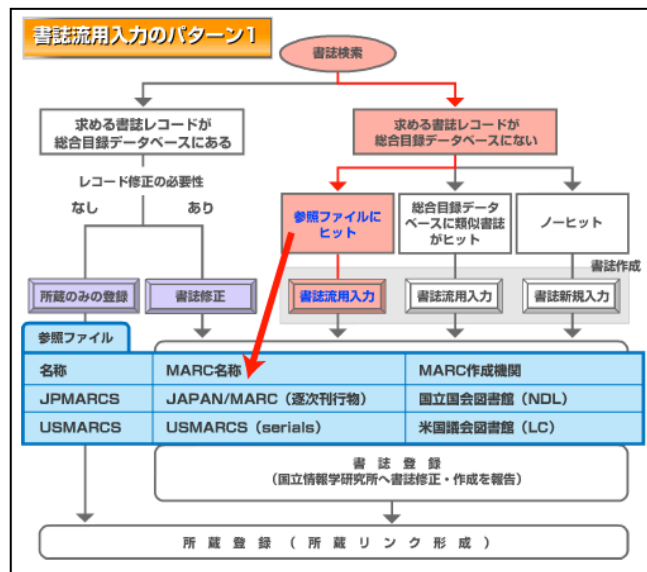


一方、より新しい号を所蔵している場合の修正は、記述根拠号以外の情報を、NOTE フィールドに注記します。

つまり、「より古い号」による修正、「初号」による修正、また、「記述根拠号以外」による修正の各ケースで、記述の仕方が異なります。

このことは、既存教材「目録情報の基準-雑誌編」2章2節3項でも図解していますので、確認しておきましょう。

1 節 所蔵登録と書誌登録



求める書誌レコードが総合目録データベースになかった場合はどうでしょうか。

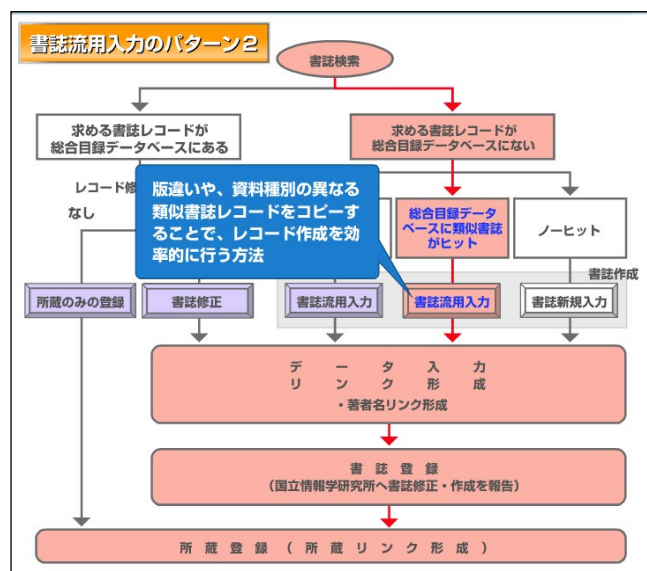
書誌検索の結果、総合目録データベースではなく、参照ファイルにヒットした場合、参照ファイルの書誌を流用して書誌登録を行います。

雑誌の場合、ここにあげた参照ファイルが用意されています。

総合目録データベースに書誌レコードを新たに作成する時に、参照ファイルにヒットした書誌をコピーすることで入力作業を軽減することができます。

参照ファイルは、各 MARC 作成機関の規則に従って作成されていて、必ずしも NACSIS-CAT と同じルールではありません。

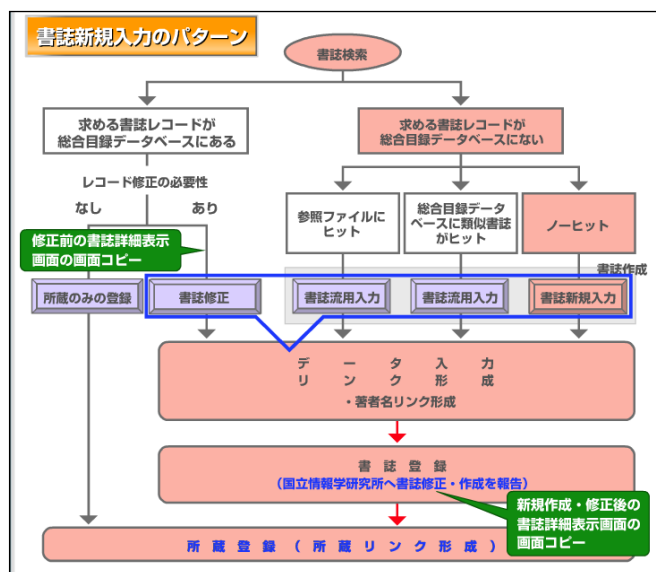
従って『目録情報の基準』等 NACSIS-CAT の規則に則ったレコードにしなければなりません。



書誌検索の結果、求める書誌レコードが総合目録データベースになく、版や資料種別の異なる書誌レコードがあれば、その類似書誌レコードをコピーして新たに書誌レコードを作成することも可能です。

これを総合目録データベースからの「書誌流用入力」といいます。

1 節 所蔵登録と書誌登録



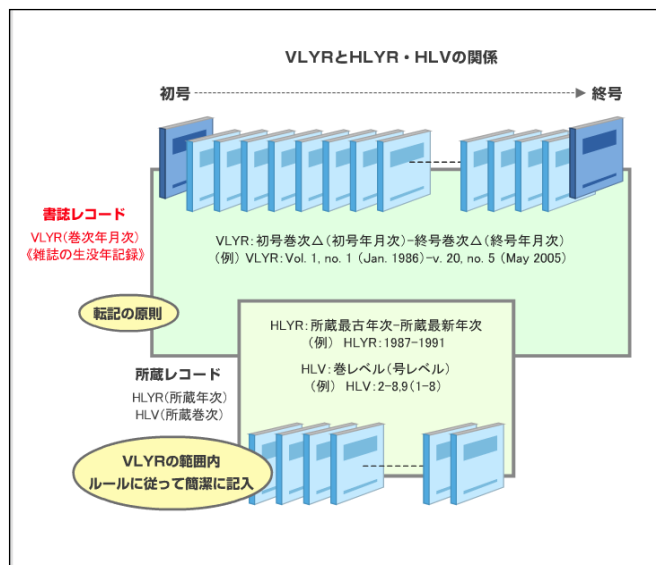
求める書誌レコードが総合目録データベースになく、さらに参照ファイルや総合目録データベースの類似書誌もヒットしない場合には（ノーヒット）、書誌を新規に作成することになります。

このような書誌修正、書誌流用入力や書誌新規入力の操作には、「データ入力」と「リンク形成」が含まれます。

雑誌では、書誌修正や書誌作成の書誌登録操作を行った場合は、国立情報学研究所へ情報源箇所のコピーと、書誌レコードの詳細表示画面の画面コピーをお送りください。

最後に、書誌登録を行った場合は、必ず「所蔵登録」を行います。

3 項 具体的な注意点



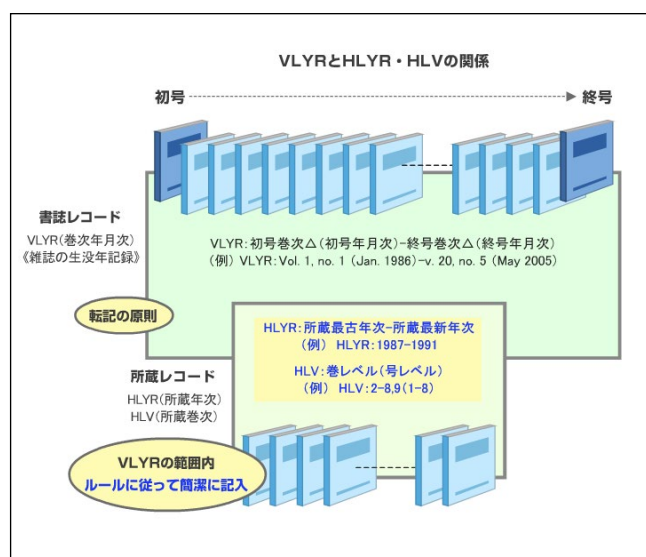
雑誌は同じタイトルのもとに、順序付けの番号をもって、継続して刊行されるものです。順序付けを表す巻次や年月次について、所蔵登録と書誌登録が、どのような関係になるか見てみましょう。

書誌レコードにはその雑誌が、いつからいつまで刊行されたか、いわば雑誌の生没年を記録します。

一方、所蔵レコードは書誌レコードの巻次・年月次の範囲内で、どの部分を所蔵しているかを記入します。

よって、所蔵レコードの HLJR (Holding Years) 所蔵年次、HLV (Holding Volumes) 所蔵巻次は、書誌レコードの VLJR (Volumes and Years of Serials) フィールド巻次年月次の範囲内でなければいけません。

1 節 所蔵登録と書誌登録



書誌レコードの VLJR フィールドは、書誌を同定するために、情報源に書かれているように記述します。これを転記の原則といいます。

一方、所蔵レコードは機械的に特定の巻号で絞込みができるよう、巻レベル(号レベル) という決まった形で記入します。

ILL 等で所蔵巻次による的確な絞込みを可能にするためにも、正しく記入されていることが大切です。

2 節 リンク形成

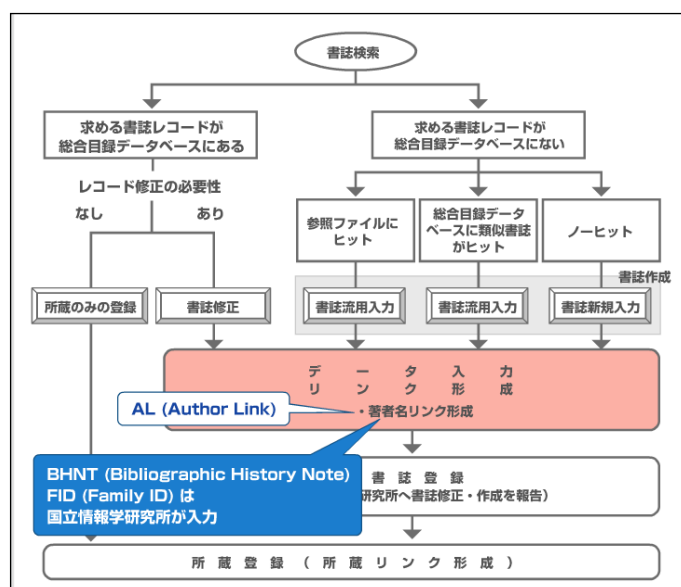
2 節 リンク形成

- 1 項 リンク形成の方法
- 2 項 リンクの種類
- 3 項 書誌入力とリンク形成の具体例

【学習目標】

1. 書誌登録とリンク形成の関係を説明できる。
2. リンクの種類と、必須かどうかの違いを説明できる。

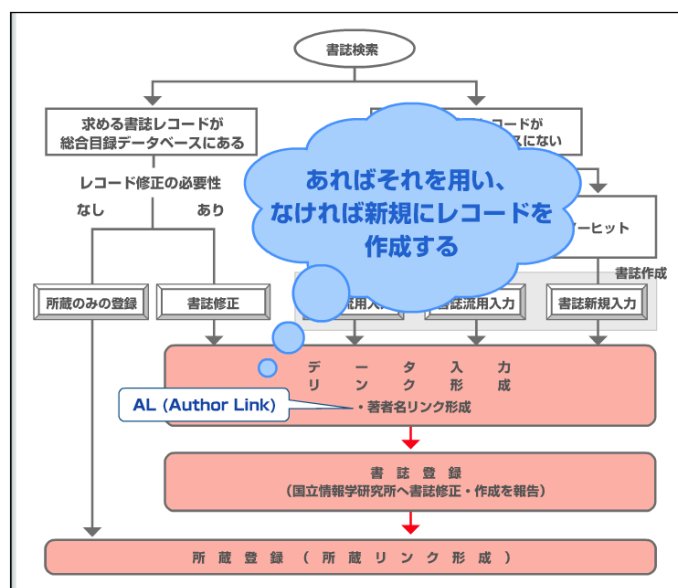
1 項 リンク形成の方法



書誌レコードからのリンク形成の操作は、通常、リンクブロックのフィールドに入力する時に行います。

雑誌書誌レコードのリンクブロックのフィールドとは、AL (Author Link) 著者名リンクのみです。変遷ブロックの BHNT (Bibliographic History Note) 変遷注記と、FID (Family ID) 変遷ファミリーID は国立情報学研究所が入力します。

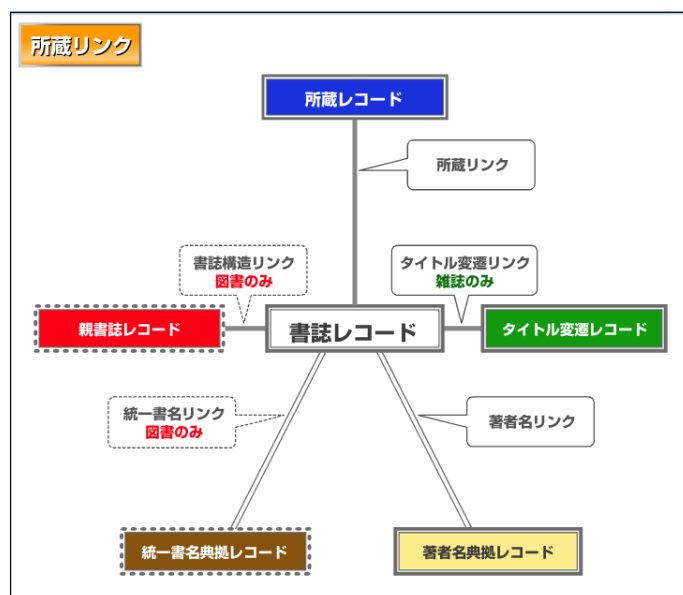
2 節 リンク形成



具体的には、リンク先レコードを検索して、あればリンク形成を行います。リンク先のレコードは共有レコードなので、ここでも「あればそれを用い、なければ新規にレコードを作成する」ことが基本です。

書誌レコードからのリンク形成のうち、「所蔵リンク形成」とは「所蔵登録」の操作のことを指します。

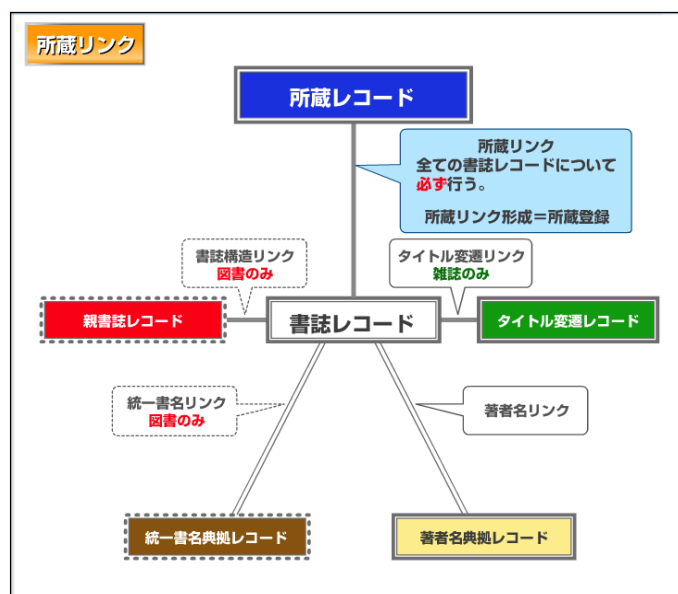
2 項 リンクの種類



書誌レコードとのリンク関係には、以下の 5 種類があります。

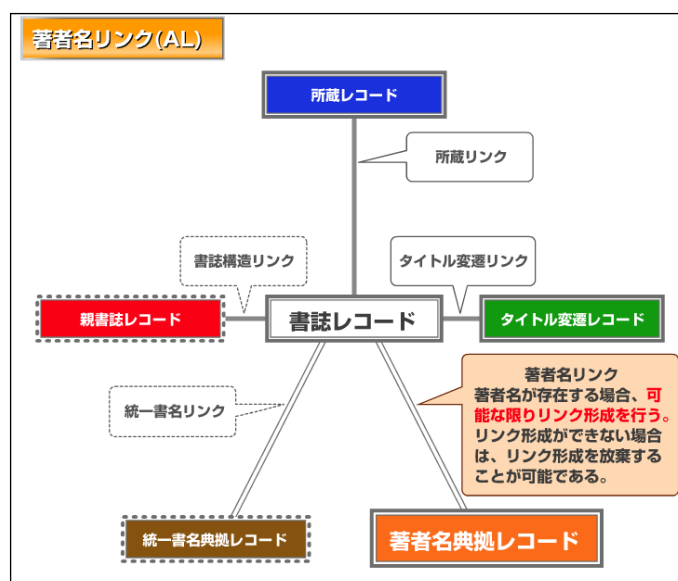
- ・所蔵リンク
- ・著者名リンク
- ・書誌構造リンク
- ・統一書名リンク
- ・タイトル変遷リンク

2 節 リンク形成



書誌構造リンク、統一書名リンクは図書のみに関するリンク関係で、タイトル変遷リンクは雑誌のみに関するリンク関係です。

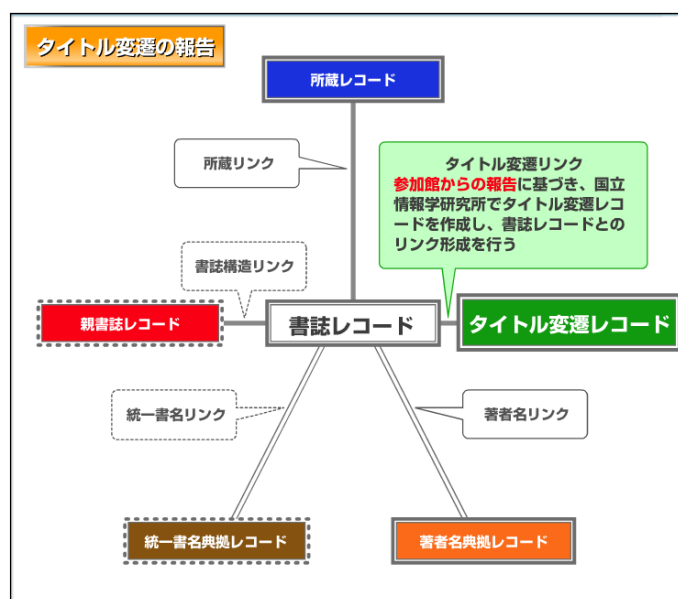
所蔵リンクは全ての書誌レコードに対して必ず行います。



著者名リンクは著者名典拠レコードに対して可能な限りリンク形成を行います。

リンク形成ができない場合は、リンク形成を放棄することが可能です。

2 節 リンク形成



タイトル変遷リンクの形成は参加館からの報告に基づき、国立情報学研究所が行います。

よって、参加館は、タイトル変遷レコード作成、書誌レコードとタイトル変遷関係のリンク形成を行いません。

書誌レコードを修正、新規作成した時と同様に、タイトル変遷関係について新しい事実を発見した時は、国立情報学研究所に報告してください。

報告の際には、タイトル変遷と考えた根拠である情報源箇所のコピーと、変遷注記用データシートを記入してお送りください。

変遷注記用データシートの記入方法は、既存教材「目録情報の基準-雑誌編」2章2節4項を参照してください。

3 項 書誌入力とリンク形成の具体例

書誌入力と著者名リンク

情報源に基づいて記述

資本市場 NRI
クォータリー 1987年夏 経済学研究所

<書誌レコードID> CRTDT: RNWDT:
GMD: SMD: YEAR: 刊年 CTRY: 出版国 NTRY: 本誌の言語 TXLT: 本文の言語 ORGL:
REPRO: PSTAT: FREQ: REGL: TYPE:
ISSN: ISSN XISSN: 取消/無効ISSN CODEN: CODEN LOCN: LCカード番号 NDLPN: NDL雑誌番号
ULPN: ULP番号 GPON: GPO番号
TR: 本タイトル△△タイトル関連情報△△責任表示||タイトルのヨミ
ED: 版
VLYR: 初号巻次△(初号年月次) - 終号巻次△(終号年月次)
PUB: 出版地△△出版者△△初号出版日付 - 終号出版日付
PHYS: 数量△△大きさ
VT: その他のタイトルの種類コード: その他のタイトル||その他のタイトルのヨミ
NOTE: 注記
PRICE: 価格
FID: 変遷ファミリーID * 国立情報学研究所でのみ記入する
BHNT: 変遷タイプ前後誌タイトル<前後誌の書誌レコードID> * 国立情報学研究所でのみ記入する
AL: 著者標目||著者標目のヨミ△△著者名典拠レコードID
SH: 件名標目表の種類 件名||件名のヨミ/件名の種類
IDENT: アクセス先に関する事項

既に著者名典拠レコードが存在すれば、IDを入力し、リンク形成

具体例でみてみましょう。『資本市場クォータリー』という書誌を登録する場合、次のように行います。

ここにあげたフィールドに書誌事項を入力していきます。黒で示したフィールドはそれぞれ情報源に基づいて記述します。下線の4つのフィールドは必須項目です。

赤で示した FID, BHNT, AL の各フィールドがリンク形成されるフィールドです。FID と BHNT はここでは入力しません。

AL フィールドは、著者名典拠レコードを検索し、該当するレコードがあれば、著者名典拠レコード ID を入力することでリンク形成します。

2 節 リンク形成

書誌入力と著者名リンク

情報源に基づいて記述

資本市場 NRI
クォーターリー 1997 夏 野村総合研究所 資本市場研究室

<書誌レコードID> CRTDT: RNWDT:
GMD: SMD: YEAR 刊年 CNTRY: 出版国コード TTTL: 本タイトルの言語コード TXTL: 本文の言語コード ORGL:
REPRO: PSTAT: FREQ: REGL: TYPE:
ISSN: ISSN XISSN: 取消/無効 ISSN CODEN: CODEN LCCN: LCカード番号 NDLPN: NDL雑誌番号
ULPN: ULP番号 GPON: GPO番号
TR: 本タイトル△△タイトル関連情報△△責任表示||タイトルのヨミ
ED: 版
VLYR: 初号巻次△(初号年月次)ー終号巻次△(終号年月次)
PUB: 出版地△△出版者△△初号出版日付ー終号出版日付
PHYS: 数量△△大きさ
VT: その他のタイトルの種類コード: その他のタイトル||その他のタイトルのヨミ
NOTE: 注記
PRICE: 価格
FID: 変遷ファミリーID * 国立情報学研究所でのみ記入する
BHNT: 変遷タイプ: 前後誌タイトル<前後誌の書誌レコードID> * 国立情報学研究所でのみ記入する
AL: 著者標目||著者標目のヨミ△△著者名典拠レコードID
SH: 件名標目表の種類: 件名||件名のヨミ/件名の種類
IDENT: アクセス先に関する事項

既に著者名典拠レコードが存在すれば、IDを入力し、リンク形成

野村総合研究所資本市場研究室||ノムラ ソウゴウ ケンキュウジョ
シホン シジョウ ケンキュウシツ <DA05355284>

同定できるレコードがなかった場合、新たに著者名典拠レコードを作成するか、もしくは、著者名典拠レコードとのリンク形成は任意ですので、リンク形成を放棄します。ただし放棄の場合は、著者名の標目形である野村総合研究所資本市場研究室とそのヨミを入力するなど、データの整備を行います。

このように、書誌登録は、個々のフィールドへの「データ入力」と、「リンク形成」の操作であるといえます。

書誌入力と所蔵リンク

資本市場 NRI
クォーターリー 1997 夏 野村総合研究所 資本市場研究室

書誌レコード
TR: 資本市場クォーターリー△△野村総合研究所資本市場研究室△[編]||シホン△シジョウ△クォーターリー
VLYR: 1巻1号△(1997.夏)ー
1巻1号(昭60)ー通巻10号(昭60)ー

所蔵レコード
LOC: 書庫
HLYR: 1997-2009
HLV: 1-11,12(1-3)

HLYR: 1985-1985
HLV: 1(1) ×HLV: 10

次に、作成した書誌レコードにリンクした所蔵レコードを登録します。

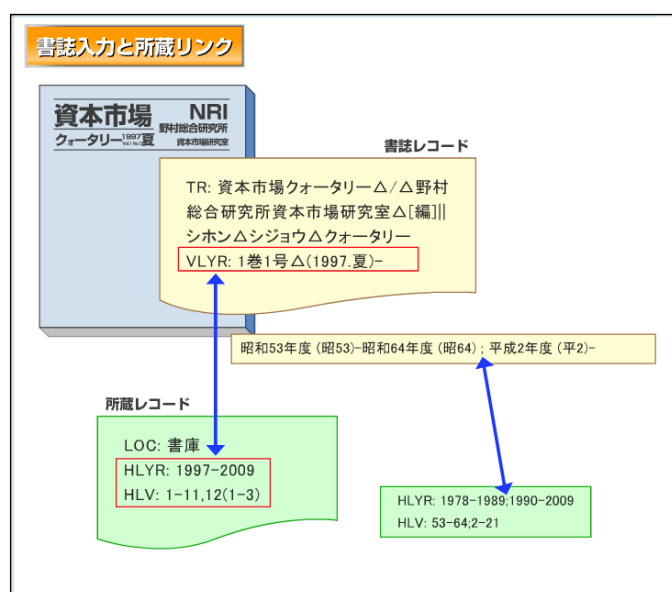
書誌レコードの VLYR の範囲内で、所蔵レコードの HLYR と HLV を入力します。

HLYR と HLV は VLYR に対応することが原則です。

例えば、書誌レコードの VLYR の最初に、巻と号が記述されていれば、所蔵レコードの HLV も巻(号)を入力します。

通号の表示があっても、巻と号のように 2 階層の巻次があれば、VLYR も HLV も 2 階層を優先するルールになっているからです。

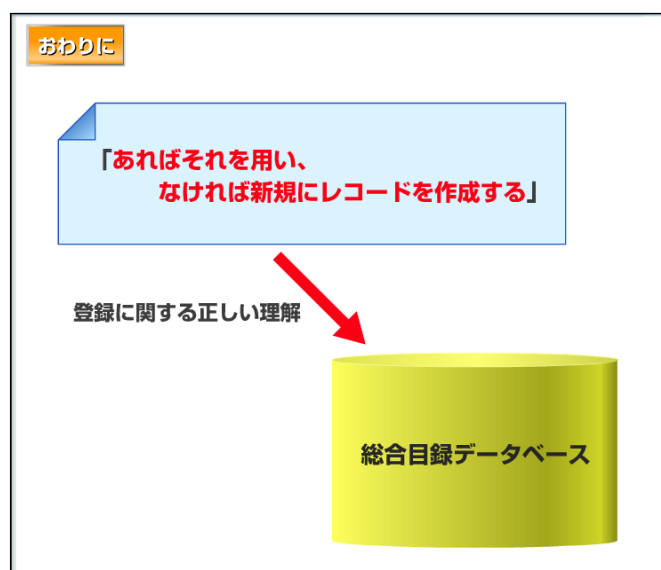
2 節 リンク形成



また、書誌レコードに巻次が途中で変更になったことが記述されていれば、それにあわせて、所蔵レコードのHLYRとHLVを記入します。

雑誌の場合、書誌登録の機会は図書ほど多くありません。しかし、所蔵登録は一度行えば終了ではなく、常に最新の情報に更新しておくことが重要です。

おわりに



具体的な登録の操作は、各図書館システムによって異なりますが、考え方は一緒です。

最初に説明した「あればそれを用い、なければ新規にレコードを作成する」と覚えておきましょう。総合目録データベースは、参加館の登録作業の積み重ねで豊かなものになっていきます。

ここで学習したように、手順は難しいものではありません。正しい理解の上に、積極的な登録をお願いいたします。